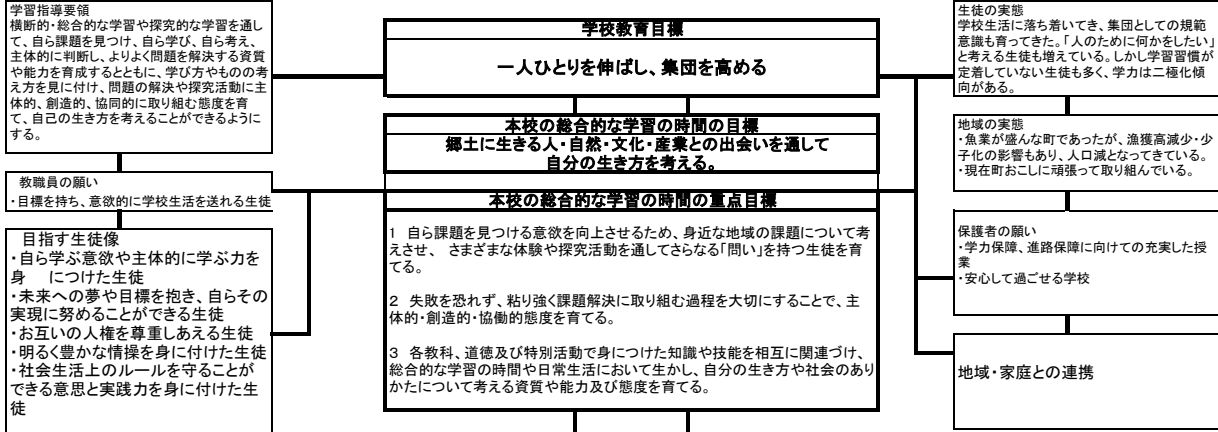


総合的な学習の時間 全体計画（案）

土佐清水市立清水中学校



育てようとする資質や能力及び態度

	①課題設定力	②情報収集力	③整理・分析力	④まとめ・表現力
I 学習方法に関する事	地域や日々の学習体験から適切に課題を設定する。	課題解決に向けて目的に合わせて手段を考え、効率的に収集している。	課題解決に向けて情報を多角的・多面的に整理・分析し、論理的に考察する。	相手や目的、意図に応じて効果的な表現のしかたを工夫し伝える。
II 自分自身に関する事	①自己有用感 探究の過程を通して自分が取り組んでいることの良さや気づき、自己有用感を持つ。	②自己理解力 自分の好きなことややりたいこと、強みや弱みを自覚している。	③将来設計力 夢や願いの実現に向けて、実社会での生活を描きながら行動している。	④実践力 地域と自分の関わりについて考え、行動している。
III 他者や社会との関わりに関する事	①他者理解力 さまざまな活動を通して他者の良さを知り、異なる意見や他者の考えを尊重する。	②コミュニケーション力 仲間や外部の方とふれあい、他者とよりよい人間関係を築く。	③協働する力 互いの特徴を生かし、協働して課題を解決する。	④地域貢献力 地域や社会の課題を「自分事」としてとらえ、提言や行動ができる。

総合的な学習の時間テーマ Think globally ,Act locally～ふるさとと世界を結ぼう～

学年	第1学年	第2学年	第3学年
テーマ	清水を語れる自分になろう	清水のために行動できる自分になろう	世界とつながる自分になろう
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校区だけでなく、郷土としての土佐清水市を語れる（＝発信できる）ように、清水の自然や文化・産業の歴史と現状について知ろう。 地域で働き、地場産業や地域の振興のためにどんな活動や仕事をしているのかを知り、清水の良さをどう発信していくかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 土佐清水市の地場産業（品）を価値づけたり発信したりしている場や観光地を見聞・体験、比較することによって、土佐清水市の魅力や課題を再発見する。 土佐清水市のあらゆる産業の基盤となっている豊かな自然の成り立ちや恵みにふれるとともに、自然とのかかわり方を考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 土佐清水市の30年後を見据えて、理想の地域づくりを考えよう。 郷土や郷土の人の出会いを通して学んだことを日本や世界の課題と結び付け、自分の生き方につなげていこう。
主な単元・学習活動	単元 1 (30時間) 見つけよう！清水のカ～清水の潜在能力～ ○仲間や仲間の小学校区を知ろう 各校区の自然を体験するフィールドワークを行い、郷土としての清水を語れるようにする。 ○ジョンワタイム 単元 2 (20時間) 磨こう！清水のカ～清水のブランドカ～ ○ジョンワタイム ○キャリアチャレンジ 清水の一次産業から六次産業の事業所を招き、仕事内容を語っていただくを通して、産業同士のつながりや、自分と社会のつながりを知り、自分の生き方を考えるきっかけとする。	単元 3 (40時間) 広めよう！清水のカ～清水の魅力～ ○修学旅行でのインタビュー 1年生でのキャリアチャレンジで知った地場産業のつながりが実際に生かされているアンテナショップを訪問し、地場産品への評価を伺うことを通して、清水の魅力を確認して、次の単元に生かす。 ○職場体験 実際の地元の職場を体験し、発信することを通して自分のキャリア形成について考える。 ○ジョンワタイム 単元 4 (30時間) つなげよう！清水のカ～清水の団結カ～ ○ツバキ保全活動 足摺岬のヤブツバキの保全活動を学び、また、ツバキやタケの活用現場を知ることにより土佐清水ならではの特産品を考え商品開発に取り組む。 ○防災学習「共助」や「避難所運営」を考える 本校が避難所になることを想定し、インクルーシブな避難所運営ができるよう考える。	単元 5 (40時間) 高めよう！清水のカ～清水の自治カ～ ○防災学習 「公助」や「災害時に自分たちができること」を考え、市民に対する働きかけや市中高生みらい会議への提言を行う。 ○ジョンワタイム 単元 6 (30時間) 羽ばたこう！世界へ～ジョンワスピリッツ～ ○ジョンワスピリッツと私たち(ジョンワ志作文) ○ジョンワタイム

指導方法	<ul style="list-style-type: none"> 教科や特別活動(学級活動・行事)や道徳との関連を意識した内容の工夫 生徒の自己肯定感を高める指導 生徒自身の主体的な行動を促す指導 図書資料活用やNIE
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> 各学年部内および学年部間の連携 各担当者間の連携 外部講師との連携
学習の評価	<ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオを活用した個人内評価 観点に応じた評価規準の設定 アンケートによる取り組みの振り返りと、次年度に向けた計画の工夫 他者、媒体への発信による外部評価

小学校との総合的な学習の内容の連携

